

# シリーズ のぞいてみよう 看護大学



## 「疫学と保健医療情報 A」

教授：新城正紀

「疫学と保健医療情報A」(1年次前期 必修 2単位 45時間)は、平成23年度の新カリキュラム導入により新規に設定された科目であり、Aクラスは私が担当し、Bクラスは別の教員が担当しています。A、Bクラスの授業概要および到達目標は同じだが、授業内容および計画、使用テキストおよび参考文献、成績評価の方法、学生相談・助言体制などは異なっています。

「疫学と保健医療情報A」の講義内容は、人々の生活と健康、疾病の予防と健康管理、疾病の頻度・分布、情報の処理・要約などであります。疫学は、疾病の種類および頻度・

分布を明らかにし、健康障害を予防するための具体的な手段を提供する学問であり、看護学においても重要な科目であります。また、保健医療情報に関する知識・技術は、個人情報保護、患者のカルテ管理、医療者の守秘義務などにおいて必須であります。

1年次は、病態生理の学習を行っていない段階であり、疫学、公衆衛生学や保健統計などの疾病や健康に関する授業内容を含んだ「疫学と保健医療情報A」を看護学生に理解してもらうには、いろいろな工夫が必要であります。講義の途中で学生の理解度の確認をし、出席カードに「学習したこと・感想」を記入してもらい講義の振り返りを行っています。



## 「身体活動論」と「身体活動論演習」

講師：牧内 忍

「身体活動論」と「身体活動論演習」は、生活習慣病の予防に必要な運動、栄養、休養、その他体のしくみや老化などについて、幅広く健康に関する知識が身につけられる科目です。

本学では、保健師の免許を取得して、一定の科目を履修すると、養護教諭(学校の保健室の先生)の2種免許がもらえますが、その必要な科目に1年次の「身体活動論」と3年次の「身体活動論演習」も含まれています。

「身体活動論」は必修科目ですが、「身体活動論演習」は選択科目ですので、養護教諭の免許も取得したい人は、忘れずに登録して、履修して下さい。

「身体活動論演習」は、非常勤講師の仲村悦子先生が担当していただき、ストレッチや気功を中心に、体の動かし方が学べます。



## 国際学会に参加して 助手：與座千代子

平成25年2月21日(木)～2月22日(金)にタイのバンコクで、第16回東アジア看護学術フォーラム(16th East Asia Forum of Nursing Scholars: EAFONS)が開催されました。この学会は、日本、フィリピン、タイ、香港、韓国、台湾、シンガポールの7つの東アジア諸国の看護系大学の博士課程の学生や学識者との交流を目的に開催されているものです。今回私は、島しょ保健看護の研究テーマについての示説発表を行いました。この学会に参加し、多彩な研究内容やプレゼンテーションの方法、また、国外の看護職者同志が今後の看護の研究や教育についてディスカッションを深めている姿を目にし、今後取り組むべき自己の課題が認識できました。まずは、自分の研究分野における国外の研究の動向の把握と、英語によるプレゼンテーションやコミュニケーション力の向上に取り組んでいきたいと思っています。